

月にみがきて



更級小学校だより
No. 15 H27. 1. 20

3学期がスタートしました

年末年始12日間の休みを終えて、3学期がスタートしました。この休み中は、「お手伝いなどを通して家族の一人としての役割を果たせた」「計画的に学習ができた」「あまり夜更かしをせず規則正しい生活ができた」といった姿がたくさん見られました。また、2学期終業式に校長先生から「交通事故に遭わないように生活しましょう」というお話をいただきましたが、交通事故に遭う子がひとりもいませんでした。とてもよい休みだったと思います。

8日の始業式では、校長先生から次のお話をさせていただきました。

平成27年の新年を迎えました。そして3学期が始まります。今日の始業式を全員の人が交通事故なく元気に迎えられたことは大変うれしいことです。みんながきちんと交通ルールを守ってくれたおかげだと思います。それから、3学期の目標を1年生、3年生、5年生の皆さんが発表してくれました。それぞれ2学期の反省を生かした目標を持っていて感心します。他の皆さんも自分のきちんとした目標を持ってください。

2学期の終わりにノーベル物理学賞を受賞した赤崎勇先生のお話をしました。あきらめない研究者であり自分の考えをもつことの大切さを話していました。さて、このお正月にはこの人のことが話題になりました。名前を知っている人はいますか。何をしている人でしょう。

長野県川上村出身の油井亀美也さんです。この服装からどんな人かわかりますね。宇宙飛行士に選ばれた人です。

油井さんは子どもの頃から宇宙飛行士になる夢を持っていたようですが、佐久の野沢北高校を卒業して防衛大学校に入学して自衛官になっていました。F15というジェット機のテストパイロットとして活躍していましたが、39歳の時に10年ぶりに募集された宇宙飛行士に応募して、1000人の中から選ばれました。39歳の時、奥さんも子どもさん3人もいるのに、その職業を捨てて新たに宇宙飛行士になろうと応募するにはだいぶ悩んだそうです。しかし、「今やらなければ後悔する」と奥さんの後押しもあって、宇宙飛行士になりました。

今年の5月には日本での訓練、ロシアでの訓練を終えて、ロシアの宇宙船「ソユーズ」で国際宇宙ステーションへ向かうことが決まっています。現在44歳ですが「年をとると能力が衰えると言われるが、それは事実ではないと思う。若くはないが限界を設けることなく、やればできるということを多くの人に見せたい」と意気込んでいます。また、努力を続けて70歳でも80



歳でも宇宙飛行士をやりたいと話しています。自分の夢をあきらめないで、やればできると努力し実現した油井さん。努力してもなかなか報われないこともあるけれど、夢を実現している人は必ず努力しています。



3学期みなさんも一年間の学習、生活のまとめをしていくことになると思います。自分の考えや感想をまとめ、お友達やお家の人の前で話す場面がたくさん出てきます。普段からしっかりと自分の考えや感想をもつことに努力し、それを書いておいて、お友達やお家の人にわかるように伝わるようにお話しできるようにしてください。そして自分にとってよい一年の締めくくりにしてください。

1学期、2学期と学校生活を送る中で、どのような姿が伸びてきたのか。どのような力がついてきたのか。また、どのようなところが不十分なのか。これをはっきりとさせて、不十分なところは十分に伸ばし、伸びてきたところはさらに伸ばしていく3学期にしていきたいと思います。そのことが、一年間のまとめであり、そのまとめにもとづいた次の一年間のスタートにもなります。

平成27年という新年のスタートにあたり、子どもたち一人ひとりが目標をもてたと思います。校長先生が始業式で紹介された油井亀美也さんのように、子どもたち一人ひとりがその目標をあきらめず努力して実現してほしいと思います。そして、実現したときに、自分のもっている力のすばらしさや努力を重ねて実現したとき喜びを実感し、「自分だってできるじゃないか」という自信を身につけていってほしいと願います。

3学期が終わると新しい学年へと進みます。特に6年生は中学校へ進学するという大きな節目です。また、5年生は最上級生になって学校を引っ張っていく立場に立ちます。このことから3学期一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。

保護者の皆様には、何かとご理解ご協力をいただくことがあるかと思いますが、どうかよろしく願いいたします。

【コラム 特別支援教育って何？⑤】

セルフエスティーム(自尊心=自分を尊重する、大事にする)を高めるためには、保護者の方が学校と連携し、何人もの関係者(保護者、教師、クラスの保護者のみなさんなど)が温かな関わりをする必要があります。ときには医療機関も大きな力となってくれます。発達障がいのある子のための支援の輪をつくっていきましょう。

発達障がいがあることは、必ずしもその人の能力が低いことにはつながりません。感性の豊かさや新しい発想、優れた技術や卓越した洞察力など、その才能を発揮した偉人がたくさんいます。

アルベルト・アインシュタイン

特殊相対性理論と一般相対性理論が有名ですが、彼は9歳になるまで本が読めなかったそうです。一度目の大学入試に失敗しています。

トーマス・アルヴァ・エジソン

電話や蓄音機など、多くの発明で有名ですが、アルファベットや算術表を暗記することができず、綴りや文法は一生めっちゃくちゃだったそうです。

その他にも、レオナルド・ダ・ヴィンチ、オーギュスト・ロダンなど。